

令和元年第1回定例会6月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。通常、本会議は午前10時から開催されます。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

発言順位

6月14日(金)

(1)	三好	宏	議員	(自民党 真誠会)P	1
(2)	尾倉	あき子	〃	(公明党)P	2
(3)	吉田	秀夫	〃	(フォーラム明石)P	3
(4)	森	勝子	〃	(維新の会)P	5
(5)	出雲	晶三	〃	(未来明石)P	6
(6)	林	健太	〃	(自民党 真誠会)P	8

6月17日(月)

(7)	国出	拓志	〃	(公明党)P	9
(8)	北川	貴則	〃	(維新の会)P	10
(9)	丸谷	聡子	〃	(未来明石)P	13
(10)	千住	啓介	〃	(自民党 真誠会)P	15
(11)	松井	久美子	〃	(公明党)P	17

6月18日(火)

(12)	佐々木	敏	〃	(公明党)P	19
(13)	梅田	宏希	〃	(公明党)P	20
(14)	楠本	美紀	〃	(日本共産党)P	22
(15)	家根谷	敦子	〃	(スマイル会)P	25
(16)	辻本	達也	〃	(日本共産党)P	26

※ 順位については予定です。

発言順位	1	議員名	三好 宏 (自民党 真誠会)
発言事項	1 泉市政の3期目について		
	(1) 泉市政の3期目について (要旨) 統一地方選挙を終えて、改選後、新たな議会が始まる。 本年度は、本市にとって市制施行100周年の節目を迎えるとともに、次なる時代への第一歩となる大切な年である。 現在、まちの好循環が続いているが、待機児童の解消、市役所庁舎の建てかえ、明石港東外港地区の整備、西明石の再整備事業、大久保J T跡地の開発など、課題も山積しており、この4年間のかじ取りがいかにか重要かを踏まえ、泉市長の3期目の市政への思いと方針を聞く。		
	2 全国豊かな海づくり大会について (1) 全国豊かな海づくり大会について (要旨) 昨年10月に2021年に開催される第41回全国豊かな海づくり大会の開催地が兵庫県に決まったが、どの市で開催するのかは、まだ決まっていない。人口や税収がふえ、まちににぎわいも戻りつつあり、中核市となった海のまち・魚のまちでもある本市にとって、開催地にエントリーする千載一遇のチャンスであると考え。積極的に誘致に向けて動くべきである。 また、これを機に、行政、漁業者、関連団体、市民がともに、これからの「豊かな海づくり」についての共通認識を持つためにも、それぞれの行動指針や責務を示した「(仮称)あかし豊かな海づくり条例」を制定するべきと考えるが、見解を聞く。		
3 播磨臨海地域道路について (1) 播磨臨海地域道路について (要旨) 神戸市西区から太子町までの約50キロを結ぶ、播磨臨海地域道路の計画が進んでいる。 播磨地域は全国屈指のものづくりの拠点ではあるが、道路網が未発達で、慢性的な渋滞が起これ、そのポテンシャルを生かし切っていない状況にあるため、地域ではこの道路の整備を待ち望む声がある。昨年、関係する機関で、播磨臨海地域道路網協議会も設立されており、現在、複数の概略ルート案が検討されている。 泉市長は、本年4月の兵庫県幹部と各市町長の会合で、概略ルート案に明石市内を通るものがあるとして抗議をしたと聞いているが、その真意について説明を求め。 また、これを機に、長年未着手である市内の都市計画道路の見直し、再検討が必要だと考えるが、見解を聞く。			

発言順位	2	議員名	尾倉 あき子 (公明党)
発言事項	<p>1 食品ロスの削減の推進に関する法律の成立に伴う、本市の取り組みについて</p> <p>(1) 食品ロス削減への本市の現状について (要旨) 社会問題となっている食品ロス削減に向けての本市の現状を聞く。</p> <p>(2) 食品ロスの削減の推進に関する法律の成立に伴う、本市の今後の取り組みについて (要旨) 国において先月、食品ロスの削減の推進に関する法律が成立した。それに伴う本市の今後の取り組みを聞く。</p> <p>2 高齢者・障がい者にやさしいまちとして、市東部へのたこバスの早期導入について</p> <p>(1) たこバスの充実に向けた今後のあり方検討の進捗状況について (要旨) 本年度の主な取り組みとして、たこバスの今後のあり方検討を進めるとあったが、その進捗状況を聞く。</p> <p>(2) 高齢者・障がい者にやさしいまちとして、総合福祉センターがある貴崎方面、そして海岸沿線へのたこバスの早期導入について (要旨) 高齢者・障がい者にやさしいまちを掲げる本市として、総合福祉センターのある貴崎方面の循環のバス路線とともに、海岸沿線へも路線が必要と考える。これらの地域へのたこバスの試行的導入についての考えを聞く。</p> <p>3 明石港西外港地区整備における防災・減災対策について</p> <p>(1) 明石港西外港地区整備事業の進捗状況と今後の取り組みについて (要旨) 国が行う海岸施設整備事業である明石港西外港地区整備事業の進捗状況と今後の取り組みについて聞く。</p> <p>(2) 地元住民への防災・減災対策の取り組みについて (要旨) 今年もまもなく台風シーズンを迎え、高潮、高波等の浸水被害も想定されることから、ハード面だけでなく、地元住民への防災・減災対策の取り組みについて聞く。</p>		

発言順位	3	議員名	吉田 秀夫（フォーラム明石）
発言事項	<p>1 保育所待機児童ゼロ対策について</p> <p>(1) 待機児童の現状と今後について (要旨) 保育所入所希望者の増加が待機児童対策を上回っている状況が続いています。保育の質を維持・向上させながら、待機児童ゼロは達成できるのか、認識をお聞きします。</p> <p>(2) 保育士・幼稚園教諭の確保について (要旨) 全国で保育士・幼稚園教諭の確保が難しくなっています。本市の状況をお聞きします。 市立保育所・幼稚園の多くは、保育士・幼稚園教諭に欠員がある中で新年度をスタートさせたと聞いています。特に臨時保育士、パート保育士、臨時幼稚園教諭の確保について、募集と応募の状況はどうか。子どもの安全・安心の確保、保育の質の確保の観点からも、人材確保の困難性の認識と欠員解消の対策についてお聞きします。</p> <p>(3) 保育士の処遇改善について (要旨) 本市の市立保育所では、正規の保育士が約100人、臨時保育士が約150人働いています。来年度から、臨時・非常勤等職員が会計年度任用職員に切りかわりますが、本市の保育士としての経験を生かして、意欲をもって働き続け、その職で生活の基盤が築いていける制度になるのか、お聞きします。</p> <p>(4) 安全・安心な保育について (要旨) 待機児童対策により、保育の量の拡充と質の向上が求められる中、質の向上の第一は、必要保育士数の充足や保育環境の充実であります。大津市の痛ましい事故もあり、保育の安全・安心について危惧しています。本市の安全・安心な保育への対策をお聞きします。</p> <p>2 ハラスメント防止対策について</p> <p>(1) ハラスメント防止の取り組みについて (要旨) 本市が設置しようとしているハラスメント防止委員会は、ハラスメントの防止及び排除のための措置、ハラスメントの被害者への配慮並びにハラスメントに起因する問題への適切な対応を行うことができるものになるのか、お聞きします。</p> <p>(2) ハラスメントのガイドラインについて (要旨) 2019年1月の「職場環境づくりガイドライン」策定後の取り組み状況をお聞きします。</p>		

発言順位	3	議員名	吉田 秀夫 (フォーラム明石)
発言事項	<p>(3) ハラスメント撲滅に向けた市長の決意は。 (要旨) ハラスメント行為は、被害者を傷つけるとともに、組織の正常な業務執行を阻害するものです。組織のトップとして、市役所の組織から、あらゆるハラスメントを撲滅する決意を内外に明確に示す必要があると思いますが、考えをお聞きします。</p>		

発言順位	4	議員名	森 勝子(維新の会)
発言事項	1 市役所新庁舎について		
	<p>(1) 求められる庁舎の姿について (要旨) 庁舎に本来求められる姿をどのように考えておられますか、 見解をお聞かせください。</p> <p>(2) これまでの取り組みについて (要旨) 新庁舎建設に係る立地について、優先度も含めて選定基準をお 聞かせください。</p> <p>(3) 西明石地区が候補から外れたことについて (要旨) なぜ、早々に西明石地区が候補から外れたのでしょうか。 その経緯、候補地選定のプロセスをお聞かせください。</p> <p>(4) 今後の取り組みについて (要旨) 早期の新庁舎完成を願う市民のニーズを的確に把握し、より身 近な市役所運営が行われることを願います。今後の取り組みにつ いてお聞かせください。</p>		
項	2 西明石地区の活性化について		
	<p>(1) これまでの取り組みについて (要旨) 人口増の施策に西明石地区の活性化は不可欠です。これまでの 取り組みをお聞かせください。</p> <p>(2) 自治基本条例に基づく市民参画と今後の取り組みについて (要旨) 民間事業者との協働による旧国鉄清算事業団用地の活用に係る 事業内容の決定、及びその後の事業の進捗にあたり、市民参画は どのように行われましたか。 西明石地区の住民からは、その詳細について十分な情報が得ら れていないとの声があり、説明責任をきちんと果たす必要がある と考えます。今後の取り組み方針と合わせて、お聞かせくださ い。</p>		

発言順位	5	議員名	出雲 晶三(未来明石)
発言事項	<p>1 市役所新庁舎整備について</p> <p>(1) 新庁舎整備の市民への説明と、今後の取り組み及び基本計画について (要旨) 明石市都市ビジョンや市役所新庁舎建設基本構想が策定されてから約2年が経過した。新庁舎整備について、これまで行政、議会、有識者で議論されてきたが、基本構想にある市民説明会が開催されておらず、市民を巻き込んだ議論がなされていないように思われる。</p> <p>これからの2年で、建設場所を決定する必要があるが、このままでは市民の賛同が得られるか疑問である。これまでの市民への説明状況と今後の市民への説明の予定について、市の考えを聞く。</p> <p>また、基本計画はいつ策定されるのかを聞く。</p> <p>(2) 現在の4つの整備案と西明石案について (要旨) 現在、4つの整備案が示されている。現地案とJT跡地案は、検討に値する案だと思うが、明石駅周辺の東仲ノ町再開発案と、分散配置案は全く理解できない。東仲ノ町再開発案が検討可能ならば、西明石駅南の再開発による整備案も検討可能と考えるが、市の考えを聞く。</p> <p>(3) 新庁舎整備への市民の参画と協働について (要旨) 市役所新庁舎は、少なくとも50年先まで活用する市のシンボルであり、市民サービスの拠点、市民の心のよりどころとなる施設である。この新庁舎整備こそ、自治基本条例の趣旨にのっとり、計画段階から市民の参画と協働のうえで建設されるべきであると考えている。市民が主体的に関わってこそ、市民に大切にされ、誇りに思える施設になると考える。市の考えを聞く。</p> <p>2 下水道事業について</p> <p>(1) ネットワーク化事業の見直しと浄化センターの将来展望について (要旨) 平成30年3月の建設企業常任委員会でネットワーク化事業の見直しが示された。</p> <p>これまで、4浄化センターを連結管で結ぶネットワークを構築し、それぞれの浄化センターの機能不全時や改築時に問題が起きないようにすると聞いていた。ネットワーク化がされなくても問題がないのかを聞く。</p> <p>現在、4浄化センターがあるが、将来的には処理水量の減少から、3浄化センターでも対応できるのではないかと考えられるが、市の考えを聞く。</p>		

発言順位	5	議員名	出雲 晶三(未来明石)
発言事項	<p>(2) 船上浄化センターの延命化について (要旨) 供用開始から48年が経過する船上浄化センターであるが、一般的に土木構造物の耐用年数が50年と言われるところ、技術の進展などにより70年以上使えるよう延命化を図るとしているが、本当に問題はないのか、考えを聞く。</p> <p>(3) 東部遮集管について (要旨) 明石川河口のかなり浅い土中に、東部遮集管という管がある。この管の構造、供用開始時期と耐用年数を聞く。 このような管は危険回避のために複数本は必要であると思うが、考えを聞く。</p> <p>(4) 合流式から分流式への移行について (要旨) 船上浄化センターの処理区内は合流式であるが、分流式への移行が必要との議論が行われてきた。移行への進捗状況を聞く。</p>		
	<p>3 明石川に架かるJR橋梁の改修について</p>		
	<p>(1) JR橋梁の下部土手のボトルネック解消に向けた国、県、本市の取り組みについて (要旨) JR橋梁の下部の土手が川に約7m飛び出し、大水のときは川の流れをせきとめている。この解消について、これまで何度も質問をしてきた。 先日、本年度の国の予算に、明石川のJR橋梁改修事業として4.4億円が計上されたと聞いているが、事業の進捗状況と、国、県、本市の取り組みについて聞く。</p> <p>(2) 改築工事の完了時期と総予算について (要旨) 明石川流域に住む市民は、大雨のたびに水害の心配をしなければならない。市民が安心できるよう、この改築工事の早期完了が必要である。完了時期と総予算を聞く。</p>		
	<p>4 明石市自治基本条例の関連条例について</p>		
<p>(1) 明石市自治基本条例において「別に条例で定める」とされている条例のうち、未策定の条例について (要旨) 自治基本条例は、平成22年に施行されて9年が経過する。しかし、策定されていなければならない「別に条例で定める」とされている項目のうち、住民投票条例などがいまだ策定されていない。なぜ策定されないのか。市は自治基本条例を軽視しているのではないか。いつ策定されるのかを聞く。</p>			

発言順位	6	議員名	林 健 太 (自民党 真誠会)
発 言 事 項	1 あかし里親100%プロジェクトについて		
	(1) これまでの取り組みと現状、その成果について (要旨) 本市は2年前から、あかし里親100%プロジェクトを始め、里親をふやす取り組みを推進してきた。これまでの取り組みを踏まえた現状と成果に対する市の見解を問う。		
	(2) 今後の取り組みについて (要旨) 明石こどもセンターが開設され、さまざまな権限が県から移譲される中、あかし里親100%プロジェクトの目標達成に向け、今後どのように取り組むのか、市の見解を問う。		
	2 市内公園管理について		
(1) 明石公園の名称について (要旨) 明石公園の名称を、明石城公園に名称変更する後押しを本市としても行わないか、市の見解を問う。			
(2) 市内公園での喫煙対策について (要旨) 小さな子供から高齢者まで幅広く利用する公共の場である公園において、喫煙ルールの整備があまり進んでいないのが現状である。明確な分煙化を進めていかないか、市の見解を問う。			
3 市内交通状況改善について			
(1) 明石駅南、国道2号における観光バスの駐停車について (要旨) 明石駅南側、国道2号に駐停車する観光バスによる交通渋滞や無理な車線変更が起こっている現状をどのように考えているのか、市の見解を問う。			
4 広報あかしについて			
(1) 広報あかしへの掲載情報について (要旨) 市内の子供たちの活躍を積極的に広報あかしに掲載していかないか、市の見解を問う。			

発言順位	7	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>1 待機児童解消に向けて</p>		
	<p>(1) 公園利用による待機児童解消対策について (要旨) 待機児童解消対策の一環として、公園に保育所を誘致するというのは、本市においても十分検討の余地があるのではないか。</p>		
	<p>2 図書館の整備について</p>		
	<p>(1) 市内各所に図書館を整備しないか。 (要旨) とりわけ大久保や西明石方面に、それぞれ図書館を整備するという考えはないか。</p>		
	<p>3 市長への意見箱の回答について</p>		
<p>(1) 一方通行にせず、誠意をもって回答すべき。 (要旨) ご意見をいただいた市民や職員へ何らかの形でフィードバックしていく必要があるものとする。</p>			
<p>4 各種保険証の送付方法について</p>			
<p>(1) 6月からの簡易書留実施について (要旨) 平成30年9月議会で提案をさせていただいた簡易書留での受け取りが6月からスタートしているが、詳細について問う。</p>			

発言順位	8	議員名	北川 貴則(維新の会)
発言事項	<p>1 「日本一安全なまち明石」実現のための危機管理について</p>		
	<p>(1) 南海トラフ大地震対策について (要旨) いつ起こってもおかしくないと言われている南海トラフ大地震に備えた市民の生命と財産を守る取り組みは最優先事項です。認識と取り組みをお聞かせください。</p> <p>(2) 木造住宅密集地域での消火活動について (要旨) 木造住宅密集地域での火災においては、狭あい道路の問題を解決するなど、物理的に十分な消火活動を行える状態にしなければ、大惨事になりかねません。また、南海トラフ大地震など、火災を引き起こすさまざまな要因にも対処できなければなりません。本市の木造住宅密集地域の消火・防火対策の現状と今後の課題をお聞かせください。</p>		
発言事項	<p>2 福祉の充実について</p>		
	<p>(1) 障がい者のための就労支援について (要旨) 障がい者の方々の社会適応能力を高めるためにも、温かい目で見守ってくれる職場環境づくりや働き先の確保は大切です。行政が率先して民間企業に協力を促すなど、誰もが安心して暮らせる社会づくりへの取り組みをお聞かせください。</p>		
	<p>(2) 子育て環境の充実について (要旨) 人口減少が深刻化する中、出生率を上げるためには、安心して子どもを育てることができる環境づくりが不可欠であり、そのためには保育所の待機児童をゼロにすることが必須です。本市では、一体いつになったら待機児童がゼロになるのでしょうか。 また、子どもたちが貧困問題で困ることがないように、親の負担を軽減するための本市独自の取り組みもお聞かせください。</p>		
発言事項	<p>(3) 高齢者の社会貢献とシルバー人材センターの活用について (要旨) 高齢化に加え、少子化、核家族化が進む中、これまで家族が担ってきた子育てや高齢者に対する生活支援などについては、地域社会で支援していく必要性が高まっています。明石市シルバー人材センターでは、地域社会の支え手の補助的な役割を担うため、高齢者世帯を初め、一般家庭における日常生活のちょっとした困りごとを解決するシルバー救急隊事業を実施しています。こういった活動が広がれば弱者の援助と高齢者の社会貢献を通じて共助の推進ができると思います。見解をお聞かせください。</p>		

発言順位	8	議員名	北川 貴 則 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p>3 健全財政と人口増策について</p> <p>(1) 平成30年度の一般会計決算見込みについて (要旨) 経常収支比率の改善が見られない中、財政健全化の取り組みは成果を出せているのでしょうか。人口増、税収増の今こそ、将来を見据えた持続可能で無理のない財政運営に努めながら、市民が税収増の恩恵を肌で感じていただける減税はできないのでしょうか。平成30年度の一般会計決算見込みについてお聞かせください。</p> <p>(2) 人口減少社会をはねのける本市の人口増策について (要旨) 人口増の今こそ、まちのイメージや生活の質を重視した整備に力を入れることが必要だと思います。都市間競争に勝ち、さらに魅力のあるまちづくりを推進し、住むところと働くところづくりにも注力しながら、目標として人口35万人を目指すべきだと考えます。見解をお聞かせください。</p> <p>(3) 無料化の今後について (要旨) 行財政改革による福祉のカットは非常に嘆かわしいことですが、逆に健全財政の観点から、医療費や保育料などの無料化施策には限界もあると思います。財源は大丈夫なのでしょうか。今後の方針をお聞かせください。</p> <p>(4) 増大するインフラや公共施設の維持・整備費について (要旨) 道路、橋、上下水道、公共施設などの老朽化が進むと、大きな事故を引き起こしかねません。安全・安心の観点からも細心の注意が必要です。補修計画は万全でしょうか。また、公共施設では明石公園の旧図書館などにおいて解体費用等が必要となりますが、予算は大丈夫でしょうか。</p> <p>4 (仮称) いじめ・いやがらせ・虐待・パワハラ・体罰防止条例の制定について</p> <p>(1) 条例制定に向けた取り組みについて (要旨) 一方的なパワハラ発言はもう御免です。本市で虐待による惨事や、いじめによる自殺、職場や学校での嫌がらせ、クラブ活動等での体罰が生じないように、条例制定を急ぐべきですが、多数の優秀な弁護士職員を擁しても、やはり本市では制定できないのでしょうか。本市の取り組みをお聞かせください。</p>		

発言順位	8	議員名	北川 貴則(維新の会)
発言事項	5 観光振興と明石港の砂利揚げ場について		
	<p>(1) 観光振興について (要旨) 年々、明石を訪れる人が増加し、明石ブランドの海外進出も順調のようですが、海のまち、海峡交流都市を掲げる本市の観光振興の取り組みと課題をお聞かせください。</p> <p>(2) 明石港の砂利揚げ場について (要旨) 現在、明石港を管理している兵庫県は、一昨年、砂利揚げ場を利用している民間企業への使用許可について、平成31年3月末以降は更新しない方針を表明しましたが、残念ながら現在も操業は続いています。本市の移転に向けた熱意や移転後のまちづくりに対する姿勢に問題はなかったのでしょうか。 約10年前、明石駅前南地区再開発の認可申請を国に行った際、明石港の利活用計画を策定することが本市の責務として含まれておりました。本市の本来のあるべき姿とかけ離れた現状から脱するための今後の取り組みをお聞かせください。</p>		
	6 市長の給与と退職金について		
	<p>(1) 給与の3割カットについて (要旨) 泉市長は初当選以来、自らの給与を3割カットされてきました。この度の改選後は3割カットを行わないのでしょうか。見解をお聞きかせください。</p> <p>(2) 退職金について (要旨) 出直し選挙の発端は暴言問題でした。任期途中での突如の辞職により、退職金についての説明を十分果たしたとは言えない結果となりました。辞職した要因を踏まえて、自身の退職金に対する見解をお聞かせください。</p>		

発言順位	9	議員名	丸谷 聡子(未来明石)
発言事項	1 ひきこもりの実態把握と支援策について		
	<p>(1) ひきこもりの現状について (要旨) 本市におけるひきこもりの実態把握と支援の現状等について、市の見解を問う。</p> <p>(2) (仮称) 明石ひきこもり支援センターの設置について (要旨) ひきこもりがちな子どもがいる家族の方から、「どこに相談すればよいかわからない」「親が高齢になり、これから先が不安である」という8050問題の現状を示唆するような、切実な声を聞いている。ひきこもり専門の相談窓口を常設し、当事者や家族に寄り添う支援が急がれると考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) ひきこもりサポーターの養成について (要旨) より身近な地域での早期発見、適切な支援へとつないでいくためにも、市民対象の「ひきこもりサポーター」養成が必要だと考えるが、市の見解を問う。</p>		
	2 子どもの虐待通報への対応について		
発言事項	<p>(1) 明石こどもセンターへの虐待通報状況について (要旨) 本年4月に開所してからの虐待通報状況について現状を聞く。</p> <p>(2) 通報後の対応について (要旨) 通報後の対応について、どのように行っているのか。 虐待が判明した場合の、子どもの保護、保護者への対応、緊急ではないと判断したケースへのその後の対応等について、市の見解を問う。</p> <p>(3) 通報が誤報であった場合の対応について (要旨) 通報の真偽について、どのようなプロセスで見極めるのか。通報が誤報だった場合は、誰が、どのように対応するのか、市の見解を問う。</p>		
	3 第6次長期総合計画の策定について		
	<p>(1) 策定に向けたスケジュールとプロセスについて (要旨) 現在の第5次計画期間が2020年度で終了する。次期計画は、2030年度までの10年間の本市の方向性を示す重要な計画である。そのため、本年3月の総務常任委員会において報告された策定スケジュールや市民意識調査の実施だけでは不十分であると考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	9	議員名	丸谷 聡子(未来明石)
発言事項	<p>(2) より多くの市民参画ができる工夫や仕組みについて (要旨) 明石市自治基本条例が2010年に施行されてから初めての長期総合計画の策定である。条例に定められている市民の市政への参画や協働のまちづくり、情報の共有をどのように実現していくのか。計画策定は、明石市民のシビックプライド(=まちを愛する心)を高めるよい機会でもあることから、若者から高齢者まで多くの市民が参画できる工夫や仕組みが必要であると考え、市の見解を問う。</p> <p>(3) 次期計画の方向性としている「SDGsの反映」について (要旨) SDGsは、経済、社会、環境の統合的向上の実現を目指したものであり、CO₂削減や再エネ推進、資源循環、生物多様性なども重要な目標である。次期計画にSDGsを反映させるならば、当然「豊かな自然環境を未来につなぐまちづくり」を重点施策に盛り込むべきであると考え、次期計画におけるSDGsの位置づけと認識を問う。</p>		

発言順位	10	議員名	千住 啓介 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 まちを元気にする産業振興について</p>		
	<p>(1) 明石の歴史を創ってきたものづくりについて (要旨) 地域における活発な産業活動は、雇用を創出し、市民所得を向上させる大切な要素である。ものづくり技術などを生かした新たな価値を生み出す産業基盤整備が必要と考えるが、本市の見解を問う。</p> <p>(2) 工場立地法の緑地率等の特例措置について (要旨) 工場立地法並びに地域未来投資促進法による特例で、緑地率等を自治体が独自に設定することができる。限られた敷地の中で効果的な施設整備が求められているが、昨今では工場設備も環境に優しいものを使っていることから、本市でも当該緑地率等の緩和措置を検討するべきと考える。本市の見解を問う。</p>		
発言事項	<p>2 明石市西部地区のまちづくりについて</p>		
	<p>(1) J R 土山駅北側の歩行者の安全確保と渋滞緩和について (要旨) 明石市の北西地域で暮らす方々の住環境を整えるべきと考える。主要地方道宗佐土山線（兵庫県道 84 号線）の拡幅を進めるため関係機関と協議を行っているのか。本市の見解を問う。</p> <p>(2) J R 土山駅北東側道路の安全確保について (要旨) 市道二見 164 号線、並びに市道二見 3 号線の安全確保について、本市の見解を問う。</p> <p>(3) 二見北小学校区の憩いの場となる鴻池等の親水公園整備事業について (要旨) 本市長期総合計画の主な施策の一つである「緑の基本計画」にも都市環境保全施策の一環として位置づけられている鴻池の親水公園化を推進するべきと考えるが、本市の見解を問う。</p>		
発言事項	<p>3 近隣都市との広域連携について</p>		
	<p>(1) 近隣都市との共同公共交通インフラについて (要旨) 市民は市内だけを生活拠点としていない。幹線道路の共同計画、コミュニティバスを含む公共交通の共同計画並びに運営等、近隣都市との公共交通インフラ施策についての見解を問う。</p> <p>(2) 近隣都市とのにぎわい創出について (要旨) 近隣都市では大規模なにぎわい創出事業が計画されている。本市は、これを好機と捉え、連携しながら共同事業を行うべきと考えるが、見解を問う。</p>		

発言順位	10	議員名	千住 啓介 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>(3) 近隣都市との福祉施設、運動公園等の共同運営について (要旨) 保育所待機児童問題、高齢者福祉施設への入居待ち問題、スポーツ施設の不足問題など、多くの課題がある。近隣都市としっかり協議したうえで、共同運営という手法も解決策の一つであると考えているが、見解を問う。</p> <p>(4) 近隣都市との連携強化について (要旨) 近隣都市との連携は極めて重要であり、明石市の発展に大きく寄与するものと考えている。特に、首長間の関係性は重要である。努力して定期的に懇談の場を設けるべきと考えているが、見解を問う。</p>		

発言順位	11	議員名	松井久美子（公明党）
発 言 事 項	<p>1 明石市の女性の活躍推進について</p> <p>(1) SDGsの17分野の目標の一つとなっている「5 ジェンダー平等を実現しよう」の達成につながる明石市の女性の活躍推進について (要旨) 政府が掲げるSDGsアクションプラン2019における3つの柱の一つに「SDGsの担い手として次世代・女性のエンパワメント」が設定されていることから、SDGs未来安心都市・明石の創造に向けた本市の女性活躍推進についての見解を聞く。</p> <p>(2) あかし女性の活躍推進会議からの「女性の活躍推進に向けた政策提言」の進捗状況について (要旨) 平成28年12月にあかし女性の活躍推進会議から市長に提出された「女性の活躍推進に向けた政策提言」の進捗状況について聞く。</p> <p>(3) 「あかし女性応援ねっと」と連携し、市内の女性活躍の基盤づくりを。 (要旨) 本年6月現在、「あかし女性応援ねっと」の加入者数は3,697人となっている。本市男女共同参画課と男女共同参画センターが「あかし女性応援ねっと」と連携し、市内の女性活躍の基盤づくりをすべきである。</p> <p>2 明石駅前の(仮称)ユニバーサルツーリズムセンターについて</p> <p>(1) これまでの進捗状況について (要旨) 本市は、共生社会ホストタウンでもあり、昨年、国土交通省への陳情活動を通して、(仮称)ユニバーサルツーリズムセンターの計画認定を受けたと聞いているが、進捗状況について聞く。</p> <p>(2) 設備について (要旨) 昨年6月の本会議で、共生社会の実現に向けたユニバーサルデザインの施設整備や明石駅周辺のトイレの不足の解消を提案したが、(仮称)ユニバーサルツーリズムセンターには、どのような設備等を備えるのか。</p> <p>(3) 完成時期について (要旨) 今年の11月に行われるB-1グランプリ全国大会に間に合うのか。</p>		

発言順位	11	議員名	松井 久美子（公明党）
発言事項	<p data-bbox="312 271 852 304">3 パスポートの申請は明石市役所で</p> <p data-bbox="336 315 1412 398">(1) 中核市になったことも踏まえて、市民サービス向上のため、本市でパスポートの申請ができないか。</p> <p data-bbox="389 409 1412 629">(要旨) 条例による事務処理特例制度（都道府県知事の権限に属する事務の一部を、都道府県の条例で定めるところにより、市町村が処理することとすることができる制度）を活用して、市民サービスの向上のため、本市の窓口でパスポートの申請が行えるようにできないか。</p>		

発言順位	12	議員名	佐々木 敏 (公明 党)
発言事項	<p>1 人の心を豊かにする条例の制定について</p> <p>(1) 人の心を豊かにする条例の制定について (要旨) 児童・高齢者虐待、いじめ問題、パワハラ、あおり運転等、近年、人の心がすさんでいるのではないかと思う。心の問題ではあるが、行政として人の心を豊かにする条例を制定すべきだと考えるが、どうか。</p> <p>2 より一層、人にやさしいまちへ</p> <p>(1) 高齢者のためにベンチを設置しないか。 (要旨) 高齢者の方から、広い歩道や坂道の歩道上、バス停等に、ベンチを置いてもらえないかという要望がある。必要と思われる所、要望の多い所にベンチを設置しないか。</p> <p>(2) 歩行者優先を徹底しないか。 (要旨) 以前も本会議で提案したが、歩行者に冷たい運転者が多い。信号のない横断歩道で横断したい歩行者がいる時、車は必ず停止し歩行者優先を厳守することを徹底しないか。</p> <p>(3) 小・中学校の運動会で、保護者席にもテントを設置しないか。 (要旨) 先日の運動会で、保護者席があまりにも暑いため、子どもの演技が見えにくいにもかかわらず、校舎の影からご覧になっていた方が多かった。保護者席にもテントを設置しないか。</p> <p>3 不審者対策用のインターホンの貸出について</p> <p>(1) 不審者対策としてインターホンを用意し、必要な人に貸し出しをしないか。 (要旨) 不審者対策用の電話機は、警察で用意されている。不審な訪問者を撃退する自動応答機能が付いたインターホンを市で用意し、必要とされる人に貸し出しをしないか。市民を犯罪から守るために、ぜひ導入すべきだと考えるがどうか。</p>		

発言順位	13	議員名	梅田 宏希(公明党)
発 言 事 項	<p>1 難聴児支援について</p> <p>(1) 全ての新生児の聴覚検査の実施について (要旨) 厚生労働省は、先天性難聴の早期発見に有効であるとして新生児難聴検査を推奨しており、全ての新生児の聴覚検査実施に向けて、全国の自治体に積極的な公費助成と体制整備を求めています。本市では、国と同様に当該検査の受診は任意としていますが、本市の取り組みについてお答えください。</p> <p>(2) 人工内耳の維持費への助成について (要旨) 人工内耳の手術は医療保険適用対象ですが、修理、電池交換などの維持にかかる費用は保険適用外で自己負担となり、費用負担が大きいため、維持費への助成制度が求められています。 公明党難聴児・者支援プロジェクトチームは、今月5日、厚生労働省に全新生児聴覚検査と合わせて、総合的な支援体制構築を提言しました。 神戸市は4月から補助を開始しています。本市の取り組みについてお答えください。</p> <p>2 児童生徒の交通安全対策について</p> <p>(1) 本市の交通安全対策の現状と課題について (要旨) 児童生徒が犠牲になる事故が多発していることを受けて、多くの市民から本市の取り組みは大丈夫かとの問い合わせがあります。通学路の点検、交通安全教育についての取り組みと課題についてお答えください。</p> <p>(2) 通学路の安全対策について (要旨) 明石警察署が発表した、本市の最新の交通事故概況を見ると、道路形状別では交差点が最も多く、道路種類別では市道が多い状況です。通学路の交差点での信号待ちで児童生徒が滞留した時に車が突入したことを想定し、交差点の四つ角にガードレール等の強度のある車止めが必要ではないでしょうか。再点検を求めますが、お考えをお答えください。</p>		

発言順位	13	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	3 教育の情報化について		
	<p>(1) 教育の情報化の実態について (要旨) 2020年から小学校でプログラミング教育が必修化されます。また、政府の規制改革推進会議は、今後5年でデジタル教育環境を整備し、全小中学校と高校にパソコンやタブレット端末1人1台体制を実現すると答申し、首相は改革の実現を急ぐと答えました。</p> <p>平成30年10月に文部科学省が発行した「教育の情報化の実態に係る主な指標」によりますと、本市は調査6項目の全てにおいて全国平均、県平均をともに大きく下回る結果です。</p> <p>本市の教育の情報化の実態をどう認識し、対応していくのか、お答えください。</p> <p>(2) 統合型校務支援システムの導入について (要旨) 本システムは、本市教育委員会で、平成26年度に校務の情報化推進委員会、平成29年度にプロジェクトチームで検討した結果、整備効果は大きく、推進すべきとの結論を得ております。早急に導入すべきだと思います。他市の整備状況と比較しても大変遅れており、こどもを核としたまちづくりを掲げる本市の方針にそぐわないと思いますが、お考えをお答えください。</p>		
4 大久保北部の買い物困難者対策について			
(1) 大久保北部の買い物困難者の現状と対策について			
(要旨) 大久保北部の買い物困難者に対する支援の要望が多く寄せられています。これまでの取り組みと課題についてお答えください。			
(2) 公共交通の路線拡大について			
(要旨) 大久保北部は、民間公共交通の営業地域であるために、コミュニティバスの導入は困難であるとお聞きしています。そこで、朝夕の通勤時間帯を外した昼間の小型バスによる運行であれば、買い物困難者の利便性を確保できると思います。他の方策があるのかも含めてお答えください。			

発言順位	14	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>1 軽・中度難聴児補聴器購入費等助成事業について</p>		
	<p>(1) 必要なタイミングで機器ごとに助成をしてはどうか。 (要旨) 平成31年3月に採択された請願項目である軽・中度難聴児の補聴器購入費等助成事業において、現在、FM補聴システム(デジタル無線方式のものを含む)と補聴器は、ひとくくりの助成項目となっている。必要なタイミングで機器ごとに助成をしてはどうか。</p> <p>(2) 修理費用も助成の対象としてはどうか。 (要旨) 同じく請願項目である補聴器の修理費用に関しても、現在は全額自己負担となっている。精密機器のため高額になることもあり、助成の対象としてはどうか。</p> <p>(3) 助成対象外の基準の引き上げを。 (要旨) 同じく請願項目である助成対象外の基準について、身体障害者手帳所持者の補装具費支給制度と同じ「市民税所得割額が46万円以上の世帯」となるよう基準を見直してはどうか。</p>		
			<p>2 ひきこもり対策について</p>
			<p>(1) ひきこもり当事者の人数について (要旨) 本年3月、内閣府は40歳から64歳までのひきこもり当事者の推計人数を約61万人と発表した。本市ではどのくらいの人数がいるのか。</p> <p>(2) ひきこもりに関する相談について (要旨) 本市ではこころのケア相談を行っているが、ひきこもりに関する相談も行っているのか。相談につなげるのが解決への第一歩だと考えるが、相談場所を知らない方もまだまだいる。また、家族は自分の育て方が悪かった、自分の責任だと考え、相談することをためらっている方もいる。</p> <p>(3) 本市のひきこもり問題への取り組みについて (要旨) ひきこもる原因、年齢、生活環境はさまざまだと思うが、少しでも回復した、また、社会とのつながりを持つことができた事例などを示せないか。100人いれば100通りの対処方法が必要だと思うが、少しでも家族の方に希望を持ってもらえるような工夫が必要である。</p>

発言順位	14	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	3 保育所の安全対策について		
	<p>(1) 大津市で起きた事故を受けて、本市の対応はどうだったのか。 (要旨) 大津市で園外保育中に痛ましい事故が起きてしまった。保育所の対応に問題点があったとは考えられないが、ガードレールがあればなどの意見も出ている。市内保育所(園)、認定こども園などの園外保育の安全性は確認したのか。</p>		
	<p>(2) 危険箇所に対して何らかの対策を。 (要旨) 危険箇所が確認できればルートを変えるなどの保育所側の対応や、道路整備などの関係部署との連携で安全対策を図るべきだと考える。</p>		
	<p>(3) 子どもの発達に欠かせない園庭等の確保について (要旨) 保育所(園)の設計段階で工夫して極力、園庭を造るようにしてはどうか。難しい場合には、保育所を公園の隣に建設するなどの工夫をするべきではないか。</p>		
	4 国民健康保険について		
<p>(1) 都道府県単位化後どのような変化があったのか。 (要旨) 平成30年度より、都道府県が市町村とともに運営を担う体制がスタートしたが、どのような変化があったのか。</p>			
<p>(2) 今後の見通しはどうか。 (要旨) 貧富の差が大きくなっている昨今、本市の国民健康保険は、所得額100万円未満の世帯が平成30年3月末現在で25,946世帯あり、全加入世帯の66.5%を占めている。この先の見通しはどうか。</p>			
<p>(3) 高すぎる保険料の引き下げを。 (要旨) アンケートでは、高すぎる保険料の引き下げを求める声が多くあった。平成29年度は滞納世帯が1割あり、協会けんぽに比べて、多子世帯では保険料が2倍になっている場合もある。市としても工夫して保険料を引き下げることができないか。</p>			
5 南畑踏切と駅のバリアフリー化について			
<p>(1) 南畑踏切のエレベーター付き歩道橋建設の進捗状況は。 (要旨) JR西明石駅の西側に位置する南畑踏切は、過去に死亡事故も起きている。渡る距離が長く、遮断機が上がってすぐに渡り始めても、渡り切らないうちに遮断機が下りてしまうこともある。歩道橋建設の進捗状況を聞く。付近の民家の立ち退きや、新幹線との交差部分について問題はないのか。</p>			

発言順位	14	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>(2) 山陽電鉄各駅のバリアフリー化について (要旨) 昨年、江井ヶ島駅のバリアフリー化が完了し、今年度は林崎松江海岸駅の設計予算が計上されているが、完成までの計画はどのようなになっているのか。大蔵谷、人丸前、藤江、中八木、西江井ヶ島、魚住各駅でのバリアフリー化は考えられているのか。</p> <p>(3) JR西明石駅在来線東口のバリアフリー化について (要旨) 本市は、SDGs未来安心都市を掲げ、インクルーシブ条例の制定も進めている。車椅子の方も、高齢者も、電車に乗って移動する機会がふえてきており、改札からホームへのエレベーターを早急に整備するべきではないか。</p>		

発言順位	15	議員名	家根谷 敦子 (スマイル会)
発言事項	<p>1 豊かな海づくりについて</p> <p>(1) 豊かな海を守り、生かす取り組みについて (要旨) 現在、海の栄養塩不足が深刻化しているが、魚食普及も目指した豊かな海づくりに向けた本市の今後の取り組みについてお尋ねしたい。</p> <p>2 (仮称) 読書バリアフリー法について</p> <p>(1) 図書館の利用者に向けた取り組みについて (要旨) 国では、(仮称) 読書バリアフリー法の制定が検討されているが、その趣旨を踏まえ、本市の図書館は読書困難者が利用しやすい環境になっているか、お尋ねしたい。</p>		

発言順位	16	議員名	辻本達也（日本共産党）
発言事項	<p>1 JT跡地北側に隣接する民有地について</p> <p>(1) 取得に係る交渉の進捗状況について (要旨) 交渉経過を含め、現在の状況について問う。</p> <p>(2) 保育所前の土地の賃貸借契約について (要旨) 本年3月末を期限とする有償賃貸借契約が結ばれていたが、現在はどのようにしているか。</p> <p>2 通学路等の安全対策について</p> <p>(1) 信号機による交通整理が行われていない横断歩道における歩行者の安全対策について (要旨) 信号機設置を推進するとともに、車両等の一旦停止義務を定めている道路交通法第38条の周知徹底が必要であると考え。</p> <p>(2) 交差点の歩道における歩行者だまりの安全対策について (要旨) 防護柵、バリカー等の設置を進める必要があると考え。</p> <p>3 教育行政について</p> <p>(1) P T Aの現状にかかる認識について (要旨) 市内小・中学校のP T Aの現状認識と課題について問う。</p> <p>(2) 学校の安全対策について (要旨) 機械警備の現状と、深夜から未明における不審者の侵入状況について問う。</p> <p>4 特別職によるハラスメントへの対策について</p> <p>(1) 明石市ハラスメント防止委員会について (要旨) 実効性について問う。</p> <p>(2) 実効性のある対策について (要旨) 通報があった場合、議会へ報告するとともに、地方自治法第100条に基づく議会の調査権の活用が有効と考える。</p> <p>5 市長の給与等について</p> <p>(1) 3割カットについて (要旨) 1期目と2期目は給与を3割カットしたが、3期目はどうするのか。減額しないのであれば、説明が必要ではないかと考える。</p> <p>(2) 2期目の退職金について (要旨) 3月議会の緊急質問で指摘した。その後、どのように検討したか。</p>		